

平成28年度 学校自己評価システムシート（県立越生高等学校）

目指す学校像	生きる力を育み、夢を実現する学校
--------	------------------

重点目標	<p>1 少人数授業(指導)を活用して「わかる授業」を創造し、学習意欲を高め、基礎学力・専門的な能力を定着・向上させて、生きる力を育む。</p> <p>2 豊かな心と自主的・自律的な態度を育み、普通科及び美術科のそれぞれの特色を生かして自己の在り方生き方を考えさせ、夢を実現するための、生きる力を育む。</p> <p>3 生徒、保護者、地域、教職員の信頼関係を深め、高い意欲を持った入学志願者の確保にもつながる開かれた学校づくりに努める。</p>
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	14名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	3名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	<p>○生徒の多様化に対して、これまで以上に「わかる授業」を発展させる必要がある。</p> <p>○意欲を持って進学し積極的に学習に取り組む生徒がいる一方、基礎学力に課題を抱える生徒も存在する。必要に応じて、義務教育段階の内容にも立ち返り、基礎・基本を学びなおすことができる機会を充実させる必要がある。</p> <p>○検定試験などの資格試験の受験機会を充実させるなど、普通科の特色、差別化を図る必要がある。</p>	○学びの質の向上	<p>○少人数・習熟度別授業を活用したよりきめ細やかな丁寧な授業を実施する。</p> <p>○教科間で連携し、成績優良者及び不振者に対する丁寧な指導を一層充実させる。</p> <p>○ICT等を活用した「わかる授業」を展開する</p> <p>○基礎・基本を重視した授業を展開する</p>	<p>○授業満足度、授業理解度の割合</p> <p>○英検 IBA（全員受験）の経年変化</p> <p>○成績優良者の増加と不振者の減少</p> <p>○タブレットコンピュータの活用状況及び稼働率</p> <p>○校外の教育資源を活用など、工夫した授業を研究する</p>	<p>・授業は「わかりやすい」と回答した生徒70%以上</p> <p>・英検 IBA 平均点は変化なし</p> <p>・1日の平均勉強時間が増加</p> <p>・タブレットコンピュータを活用した授業を展開（授業の工夫を実感62%）</p> <p>・外部講師（JPX 派遣）による社会科授業の実施・研究など</p>	B	<p>○「わかる授業」を発展させるとともに、授業研究や教科研修を改善して、教科指導を一層充実させる。</p> <p>○英検 IBA の継続受験など、外部試験を活用したアセスメントを構築し、検定資格試験の受験者を増加させる。</p> <p>○「授業5原則」の更なる定着を図り、学習環境を整備する。</p> <p>○タブレットコンピュータをより効果的に活用した学習システムを構築する。</p>
		○落ち着いた学習環境の整備と基本的学習習慣の定着	<p>○「授業5原則」を徹底する</p> <p>○各種検定に向けた特別補習、定期考査前に補習を実施する</p> <p>○学習ポスターを積極的に活用し、個に応じた適切な指導を行う。</p> <p>○資格試験の受験機会を拡充し、普通科の特色化を図り、生徒の達成感や自己肯定感を向上させる取組を行う。</p>	<p>○「授業5原則」が守られているか</p> <p>○検定試験にチャレンジする生徒の割合</p> <p>○学習ポスターを活用した授業等実施回数</p> <p>○定期考査や検定に向けた特別補習への参加人数</p> <p>○全校集会における表彰の実施など、表彰の機会を充実する。</p>	<p>・授業のルールをしっかりと守っている生徒の割合81%</p> <p>・検定試験にチャレンジしている生徒の割合(39.4%)</p> <p>・学習ポスター4名3教科で活用</p> <p>・特別補習の実施、検定前の放課後指導の実施(計50日設定)</p> <p>・定例の朝礼をはじめ、表彰機会を充実(表彰者計143名)。</p>	A	
		○教員の授業力向上	<p>○外部指導者を招いた研究授業の実施、研修会への教員派遣等を積極的にを行い、教職員一人一人の資質能力を更に高める。</p> <p>○授業公開週間を更に充実させる</p>	<p>○全科目で、協調学習の手法を参考に新しい指導技術や指導方法を積極的に導入できたか。</p> <p>○教員間の研究協議が活発に行えたか。</p>	<p>・ほぼ全ての教科が校外教員研修会等に参加(9科目16名)</p> <p>・授業公開週間等の研究協議を実施(35名参加)</p>	A	
2	<p>○変化の激しい社会で、卒業後、即戦力として活躍できる「生きる力」を育む必要がある。</p> <p>○進路意識が高く、具体的な目標を持って実現を目指して努力する生徒がいる一方で、進路に対して楽観的に考え、実現に結び付けるための努力が少ない生徒も存在する。</p>	○マナーや規範意識の醸成と基本的生活習慣の確立	<p>○「学校生活三カ条」を徹底する</p> <p>○個に応じた丁寧な生徒指導を行う</p> <p>○交通事故等の防止やインターネット上のトラブル防止を目的とした安全教育の充実を図る。</p>	<p>○「学校生活三カ条」は守られているか</p> <p>○頭髪、服装などの乱れはないか</p> <p>○登校時の声掛け、挨拶運動の実施</p> <p>○ネットトラブル防止教室の実施</p>	<p>・全校集会等で校歌の一節に触れ「三カ条」を推進。</p> <p>・頭髪服装等の生徒指導体制の充実度は約90%以上(生徒・保護者)</p>	A	<p>○校歌の歌詞に基づく「学校生活三カ条」を定着させ、本校生徒としての誇りを持たせる。</p> <p>○地域ボランティア活動等への参加啓発を行う。</p> <p>○社会貢献活動の成果をより有効に活用した取組を研究する。具体的には地域連携や生徒指導、進路指導、地域課題に対する意識を高める主権者教育などと。</p> <p>○「進路の手引き」を生徒・保護者へ周知するとともに、効果的に活用した進路指導体制を整える。</p>
		○豊かな心と健全な体の育成	<p>○専門家と連携した教育相談体制を活用するとともに、学校生活アンケートを実施し、様々な課題をもつ生徒へ適切に支援を行う</p> <p>○部活動や学校行事を通して、生徒の達成感や自己肯定感を向上させる。</p> <p>○ソーシャル・スキルトレーニングや体験活動など指導の充実を図る。</p> <p>○地域ボランティア活動など社会貢献活動の充実を図る</p>	<p>○課題のある生徒に対する支援が適切に行えたか</p> <p>○学校行事や部活動の充実度の割合</p> <p>○専門家と学校の連携した支援体制を構築できたか</p> <p>○社会貢献活動により生徒が自己有用感を高めることができたか</p> <p>○ボランティア活動へ参加した生徒の増加</p>	<p>・学校の支援体制は充実している(生徒49% 保護者47%)</p> <p>・県駅伝大会へ出場(陸上部・完走)、美術部11年連続全国大会出場</p> <p>・社会貢献活動を実施生徒211名が117事業所で活動</p> <p>・越辺川河川清掃ボランティア参加、1年生による地域清掃活動の実施</p>	B	
		○進路意識の向上と進路実現	<p>○JSTを積極的に活用した進路指導の実施</p> <p>○企業や地域産業との連携による就業体験や進路行事を一層充実させ、進路意識の向上を図る</p> <p>○進路実現に向けて、個に応じた丁寧な進路指導を実施する。</p> <p>○「進路の手引き」の活用と共に、常に最新情報を生徒へ提供できる体制を構築する。</p>	<p>○進路希望に応じた充実した進路指導が行えたか</p> <p>○卒業後の進路について具体的な目標を持っている生徒の割合</p> <p>○就業体験(インターシップ)や進路行事に満足している生徒の割合</p> <p>○「進路の手引き」を計画的に活用し、最新の進路情報を生徒に提供できたか</p> <p>○進路未定者の減少</p>	<p>・進路指導は充実していると答えた割合(生徒63%、保護者56%)</p> <p>・高校卒業後の進路を考えている生徒の割合77%</p> <p>・「進路の手引き」を効果的に活用している教員の割合42%</p> <p>・進路未定者は4割減(11→7)</p>	B	
3	<p>○HPの活用とともに、学校公開を充実することで、積極的に情報を発信し、より戦略的な生徒募集を行う必要がある。</p> <p>○学校の教育活動全般に対する保護者・地域の関心を高める取組を継続する必要がある。</p>	○戦略的な生徒募集活動の実施	<p>○全教員が関わる組織的、計画的な広報活動を展開する</p> <p>○リアルタイムなHP更新や学校の特徴を生かした広報物の作成など、積極的な情報発信を行う</p>	<p>○学校説明会の参加者の増加</p> <p>○ホームページの更新回数の増加</p> <p>○学校公開行事等の来訪者の増加</p> <p>○中学校への情報発信回数の増加</p>	<p>・学校説明会等参加者数933名</p> <p>・HP更新回数は昨年比倍増</p> <p>・学校公開講座(冬季)実施。3講座計65名参加</p> <p>・中学校訪問の実施(のべ158校)</p>	A	<p>○HPや広報物等を活用した情報発信とともに、魅力的な学校説明会等の企画、運営を検討する。</p> <p>○PTAと連携し、文化祭等の学校行事の工夫、学校公開講座の実施、地域スポーツ団との交流を通して「開かれた学校づくり」を更に推進する。</p>
		○開かれた学校づくりの推進	<p>○学校行事とPTA活動を有機的に結びつけた取組により、地域に向けて本校の素晴らしさをアピールする機会を充実する。</p>	<p>○学校行事とPTA活動は有機的に結びついたか</p> <p>○PTA活動へ参加する保護者の増加</p> <p>○地域への貢献活動が行えたか</p>	<p>・PTA保護者が体育祭等の行事運営に積極的に携わるとともに、活動への参加者が増加した。</p> <p>・地域スポーツ団との交流、施設開放</p>	A	

学校関係者評価
実施日 平成29年2月8日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>・達成度の自己評価について適切であると感じた。また、検定試験にチャレンジする生徒数が増加している点も評価できるし、全体で4割の生徒が検定試験にチャレンジしているというのは割合としては高いと感じる。</p> <p>・外部講師による講演会・勉強会などは生徒にとって社会を知る(外部と接する)良い機会になるので、このような授業は有効であると考え</p> <p>・「越生高校の成長」を感じる事ができた。</p> <p>『授業は「わかりやすい」と回答した生徒70%』は高校ではなかなか出ない数字である。</p> <p>・「授業5原則」の徹底、授業公開週間の実施など良い取組みである。</p> <p>・生徒表彰機会の充実については良いと思うが、多くの生徒を表彰するために「誰でも」「何でも」ということにしないためにも、一定の基準を設けてはどうか、また、表彰時に被表彰生徒に全校生徒の前で一言話す機会設けるなど工夫があるとよい。</p> <p>・家庭学習時間について少ないと感じた。その原因を考察・分析するとよい。</p> <p>・最近では、頭髪や服装指導の充実とその効果が感じられる。</p> <p>・「進路の手引き」を活用している教員の割合が42%と低い。手引きの内容も含めて、活用方法を考えた方がよい。</p> <p>・入学式等の式典の校歌斉唱で、生徒が歌詞カード(次第)を見ないで歌えるような指導学校に誇りを持てるような指導を考えて欲しい。</p> <p>・美術科の生徒には、ぜひ美術系大学への進学に積極的に挑戦してほしい。</p> <p>・進路指導についてはいかに多くの保護者に関心を持ってもらえるかという観点でも指導計画を立ててほしい。</p> <p>・PTA活動の活性化と共に、生徒も感化し行事の盛り上がりを感じる。</p> <p>・越生町中央公民館での作品展示や町広報の掲載された作品の質の高さに感心した。</p> <p>・美術科の地域への広報活動は評価できる。</p> <p>・相当な時間と労力を要して作品制作しているはずなのでより多くの人に見てもらえる機会を増やすため年2回展示できるとよい。</p>